FUYO LEASE GROUP

2025年3月31日

News Release

芙蓉総合リース株式会社
（コード番号：8424 東証プライム）
代表取締役社長 織田 寛明

千葉銀行をアレンジャーとする「サステナビリティ・リンク・ローン」の契約締結について

芙蓉総合リース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 織田寛明、以下「芙蓉リース」）は、株式会社千葉銀行（千葉県千葉市、頭取 米本努）をアレンジャーとする、シンジケーション方式による「サステナビリティ・リンク・ローン」（以下「本件」）の契約を締結しました。

なお、本件は地銀広域連携の「TSUBASAアライアンス」※1の枠組みを活かし、同アライアンスに参加する6行から資金調達を実行する予定です。

本件は芙蓉リースのサステナビリティ戦略と整合したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「ＳＰＴｓ」）を設定し、貸出条件とＳＰＴｓに対する芙蓉リースのパフォーマンスとを連携させることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動の実践および経済成長への貢献を目指すものです。

芙蓉リースは中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」において社会課題の解決と経済価値の同時実現による持続的成長を目指し、重点的に取り組む非財務課題について定量目標を定め、財務（企業価値）・非財務（社会価値）両面の実現を等しく追求しています。かかる戦略の実現を資金調達面から支えるものとして、非財務目標を反映した「サステナブルファイナンス・フレームワーク」※2を策定しました。

このフレームワークは国際的なイニシアティブや日本が定める各種原則、ガイドライン等への適合性が認められることについて株式会社日本格付研究所（ＪＣＲ）から第三者意見※3を取得しています。

なお、本件においては同フレームワークに設定したＫＰＩｓおよびＳＰＴｓのうち、環境面で喫緊の課題である「脱炭素社会実現への貢献」に関連する2項目を選択して資金調達を実施します。

芙蓉リースグループはＣＳＶ（Creating Shared Value：共有価値の創造）の実践を通じた社会課題の解決と経済価値の同時実現により、企業グループとして持続的な成長を目指しています。ＥＳＧファイナンスを通じて課題取り組みへのコミットメントを明確化し、ステークホルダーの皆さまとの継続的なエンゲージメント（建設的な対話）を進めてまいります。

＜案件概要＞

契約締結日：2025年3月27日
実行予定日：2025年3月31日
組成金額：120億円
アレンジャー：株式会社千葉銀行
エージェント：株式会社千葉銀行
ＳＰＴｓ：
① 2026年度（2027年3月期）のCO_2削減貢献量実績が50万t-CO_2/年以上
② 2029年3月末時点で最新のCDP気候変動スコアについて、リーダーシップレベル（A、A－）以上取得
貸付人：株式会社群馬銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社第四北越銀行、
株式会社千葉銀行、株式会社東邦銀行、株式会社北洋銀行（五十音順）

※1：伊予銀行、群馬銀行、滋賀銀行、第四北越銀行、千葉銀行、中国銀行、東邦銀行、北洋銀行、武蔵野銀行、琉球銀行の10行が参加する地銀広域連携の枠組み。
https://tsubasa-al.co.jp/

※2：芙蓉総合リース「サステナブルファイナンス・フレームワーク」
https://www.fgl.co.jp/sustainability/esg/pdf/sustainable_finance.pdf

※3 ：株式会社日本格付研究所(JCR)第三者意見
https://www.jcr.co.jp/download/ff4bedad5e40bf3c0efe901ddc371c6fd3ece3ec5eec2eee7c/23d0627.pdf（2023年9月）
https://www.jcr.co.jp/download/da73f2a6049f8677fff52afaf63cf4f6b88b45857d685aa775/24d0652_3.pdf （2024年8月）

以上

お問い合わせ先
芙蓉総合リース株式会社　コーポレートコミュニケーション室　（担当）山﨑
電話番号　03（5275）8891　　URL：https://www.fgl.co.jp/